

山形県鉱工業指数 [平成27年基準]

令和5年5月 速報

令和5年5月の山形県鉱工業生産指数

[季節調整済指数] 104.0 . . . 前月に比べ0.1%上昇
2ヶ月ぶりの上昇

[前月から上昇した業種]

金属製品工業、化学工業など9業種

[前月から低下した業種]

汎用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業
など13業種

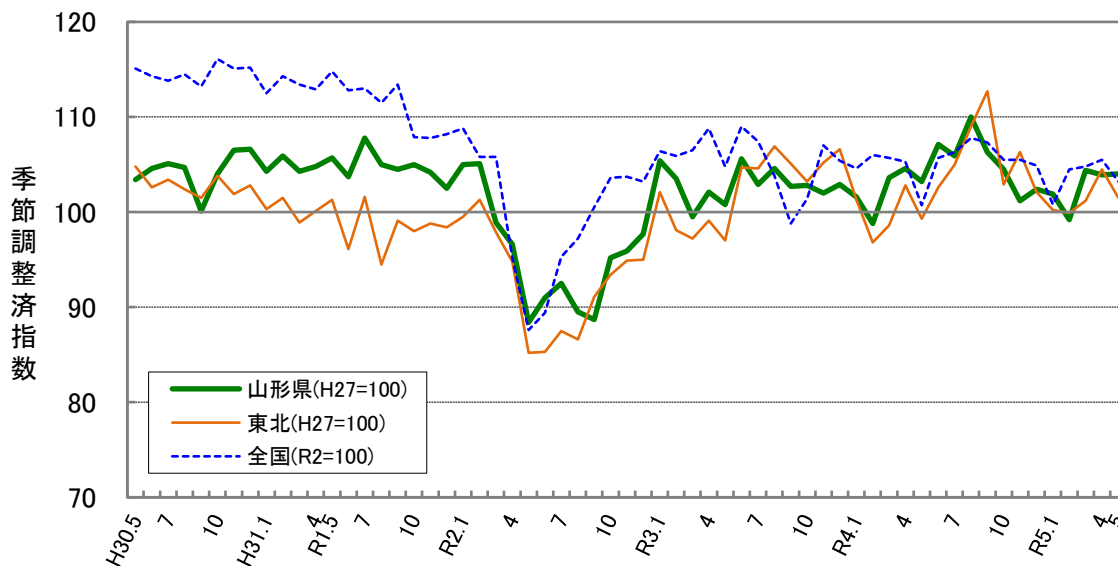
[原指数] 95.5 . . . 前年同月に比べ2.7%上昇
2ヶ月ぶりの上昇

鉱工業生産指数 [山形県、東北、全国] (H27=100、全国はR2=100)

	季節調整済指数			原指数		
	5年4月	5年5月	前月比	4年5月	5年5月	前年同月比
山形	103.9	104.0	0.1%	93.0	95.5	2.7%
東北	104.5	101.5	△ 2.9%	92.8	96.2	3.7%
全国	105.5	103.2	△ 2.2%	92.8	96.7	4.2%

※ 東北の指数は東北経済産業局が公表した速報値、全国の指数は経済産業省が公表した確報値を掲載

鉱工業生産指数の推移



<利用上の注意>

この速報の数値は、当月分は速報値、前月以前分は確報値を同時に掲載しています。

全国については、基準年次が平成27年から令和2年に改定されたものを掲載しています。

《 利用上の注意 》

1 基準時

平成27年を基準時としています。

指数値は平成27年の月平均生産（在庫）量を100.0とする比率で示されます。

2 分類

日本標準産業分類を基本とした「業種分類」と、財の用途に着目した「財分類」の2分類を採用しています。

3 採用品目

生産指数では162品目、在庫指数では64品目採用しています。

4 ウェイト

生産指数は付加価値額ウェイト、在庫指数は在庫額ウェイトを採用しています。

ウェイトの算定は、それぞれ基準年の経済センサス-活動調査及び生産動態統計調査等のデータより算出しており、鉱工業全体を10000.0とするように各品目のウェイトが構成されています。

5 総合指数の算式

基準時固定算式加重平均法で算定しています。

6 季節調整

季節調整とは、1年を周期とする定期的変動要素（気候変化などの自然要因、盆・正月などの慣習や企業の決算期などの商慣行の社会的要因）を取り除いて調整することをいい、この季節調整を行った指数を季節調整済指数とといいます。

なお、季節調整は、生産指数についてはセンサス局法X-12-ARIMAを、また、在庫指数についてはセンサス局法X-12-ARIMAのなかのX-11デフォルトを採用しています。

7 公表数値

当月分を速報値として掲載しており、前月以前分を修正して公表する場合があります。

8 「前月(期)比」及び「前年同月(期)比」の算式

$$\text{前月(期)比(\%)} = \frac{\text{当月(期)の季節調整済指数} - \text{前月(期)の季節調整済指数}}{\text{前月(期)の季節調整済指数}} \times 100$$

$$\text{前年同月(期)比(\%)} = \frac{\text{当月(期)の原指数} - \text{前年同月(期)の原指数}}{\text{前年同月(期)の原指数}} \times 100$$

9 寄与度

鉱工業指数（全体）に対して、各業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものです。

$$\text{寄与度(\%)} = \frac{\text{当月の業種別 季節調整済指数} - \text{前月の業種別 季節調整済指数}}{\text{前月の鉱工業(全体) 季節調整済指数}} \times \frac{\text{業種別 ウェイト}}{\text{全体ウェイト}} \times 100$$

10 資料

山形県鉱工業指数は、経済産業省生産動態統計調査、厚生労働省薬事工業生産動態統計調査、山形県鉱工業生産動態統計調査、各官公庁及び団体等の資料を利用し、独自に集計を行い作成しています。

11 その他

鉱工業指数は、経済産業省や各経済産業局・各都府県において作成・公表しておりますが、各地域の鉱工業の動向を的確に表現できるように採用品目やウェイト等をそれぞれ独自に定めているので、各地の特徴的な業種の動向によって指数に差が生じるほか、一品目の生産動向が各地域の指数に及ぼす影響度はそれぞれ異なりますので、利用にあたりご注意ください。

1. 令和5年5月の概況

(1) 山形県

山形県の生産指数(季節調整済)は104.0で、前月に比べ0.1%上昇し、2ヶ月ぶりの上昇となった。

業種別にみると、金属製品工業、化学工業など9業種が上昇し、汎用・生産用・業務用機械工業、電気機械工業など13業種で低下した。

在庫指数(季節調整済)は195.3で、前月に比べ0.5%低下し、2ヶ月連続の低下となった。

・鉱工業 生産指数、在庫指数(季節調整済) (H27=100)

	令和4年							令和5年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
生産	107.1	105.9	110.0	106.3	104.5	101.2	102.4	101.9	99.2	104.4	103.9	104.0
前月比(%)	3.8	△ 1.1	3.9	△ 3.4	△ 1.7	△ 3.2	1.2	△ 0.5	△ 2.6	5.2	△ 0.5	0.1
在庫	177.5	172.5	191.7	195.6	203.0	192.4	192.6	191.6	197.5	206.6	196.3	195.3
前月比(%)	8.5	△ 2.8	11.1	2.0	3.8	△ 5.2	0.1	△ 0.5	3.1	4.6	△ 5.0	△ 0.5

・今月の生産指数(季節調整済)における寄与度の高い業種

業 種 分 類		生産指数 (季調済)		前月比 (%)	寄与度 (%)
		前月	今月		
上昇	金属製品工業	91.0	142.3	56.4	1.31
	化学工業	140.7	148.9	5.8	0.62
低下	汎用・生産用・業務用機械工業	129.1	116.0	△ 10.1	△ 1.80
	電気機械工業	108.6	103.5	△ 4.7	△ 0.28

※「寄与度」とは、鉱工業(全体)に対して、その業種の増減分がどの程度影響したかを示したものです。

(2) 東北

東北の生産指数(季節調整済)は101.5で、前月に比べ2.9%低下した。

業種別にみると、生産用機械工業、化学・石油製品工業などが低下し、電子部品・デバイス工業、食料品工業などが上昇した。

在庫指数(季節調整済)は132.2で、前月に比べ4.5%低下した。

(3) 全国

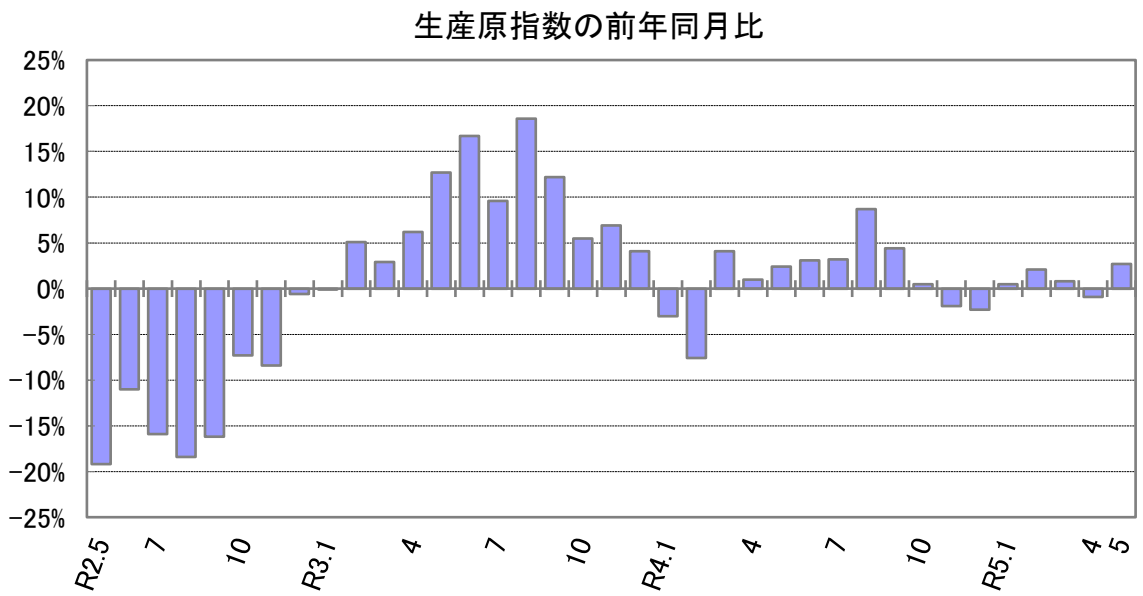
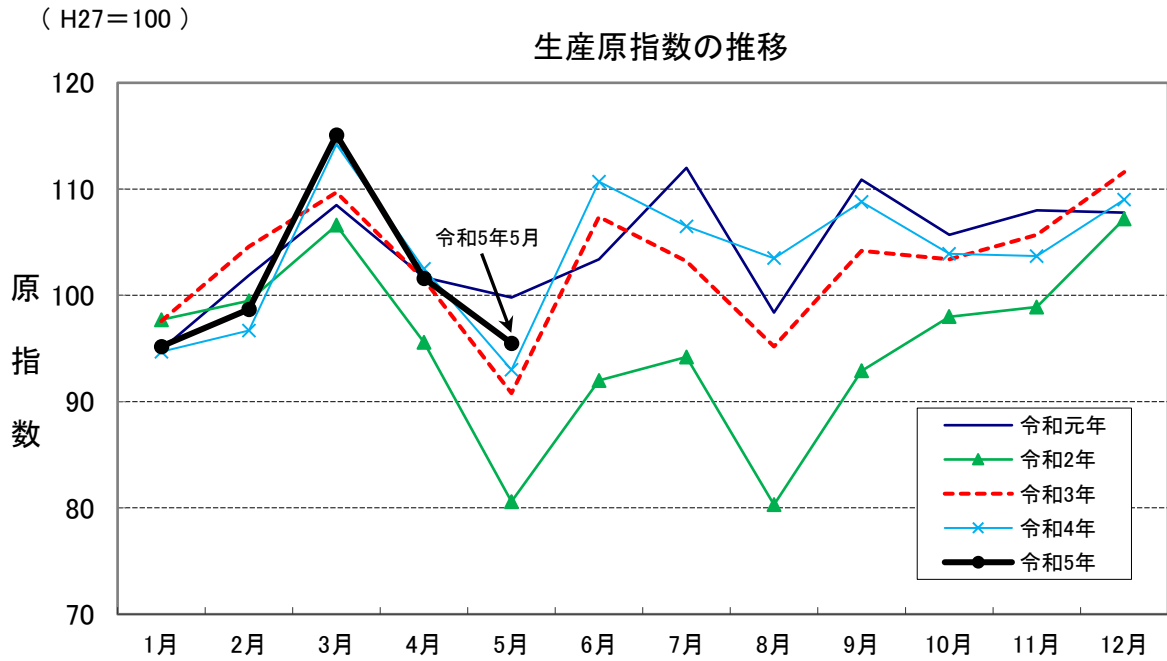
全国生産指数(季節調整済)は103.2で、前月に比べ2.2%低下した。

業種別にみると、自動車工業、電気・情報通信機械工業などが低下し、生産用機械工業、食料品・たばこ工業などが上昇した。

在庫指数(季節調整済)は105.6で、前月に比べ1.8%上昇した。

<参考> 県鉱工業生産指数(原指数)の推移

	元年5月		2年5月		3年5月		4年5月		5年5月	
	前年同月比 (%)		前年同月比 (%)		前年同月比 (%)		前年同月比 (%)		前年同月比 (%)	
原指数	99.8	△ 1.0	80.6	△ 19.2	90.8	12.7	93.0	2.4	95.5	2.7



2. 主要業種の生産動向

業 種 (ウェイト)	生 産 指 数			主要品目群 ()はウェイト	対前月比 (季調済)	対前年同月比 (原指数)
	季調済	前月比	前年同月比			
電子部品・デバイス工業 (1754.2)	季調済	109.8	前月比 △ 1.1%	集積回路(756.6)	△ 0.2%	7.5%
	原	107.6	前年同月比 △ 4.2%	電子部品(578.0)	3.8%	△ 17.9%
汎用・生産用・業務用機械工業 (1424.7)	季調済	116.0	前月比 △ 10.1%	半導体素子(236.6)	△ 10.7%	△ 9.2%
	原	106.0	前年同月比 22.3%	産業用機械(557.3)	17.2%	4.9%
食料品工業 (1382.2)	季調済	94.6	前月比 △ 1.3%	電子部品製造装置(130.6)	△ 72.5%	△ 54.0%
	原	89.6	前年同月比 1.5%	調理食品(457.8)	1.3%	△ 1.2%
情報通信機械工業 (797.9)	季調済	94.5	前月比 1.4%	菓子類(261.1)	5.9%	12.0%
	原	67.2	前年同月比 11.6%	肉製品(222.7)	△ 6.3%	△ 11.3%
輸送機械工業 (789.6)	季調済	117.4	前月比 △ 1.3%	電子計算機・同附属装置(573.8)	2.0%	23.4%
	原	96.8	前年同月比 13.0%	通信機械器具(161.8)	△ 12.6%	△ 24.3%
化学工業 (787.7)	季調済	148.9	前月比 5.8%	自動車部品(668.7)	0.0%	6.9%
	原	141.7	前年同月比 12.2%	医薬品・医薬部外品(638.5)	9.0%	12.5%
電気機械工業 (562.3)	季調済	103.5	前月比 △ 4.7%	開閉制御装置(197.7)	△ 7.2%	17.2%
	原	101.8	前年同月比 △ 3.1%			

※ この表の主要品目群とは、複数の個別品目を総合したものを一つの指数単位として計算したものです。

なお、季節調整は、業種、主要品目群においてそれぞれ行っています。

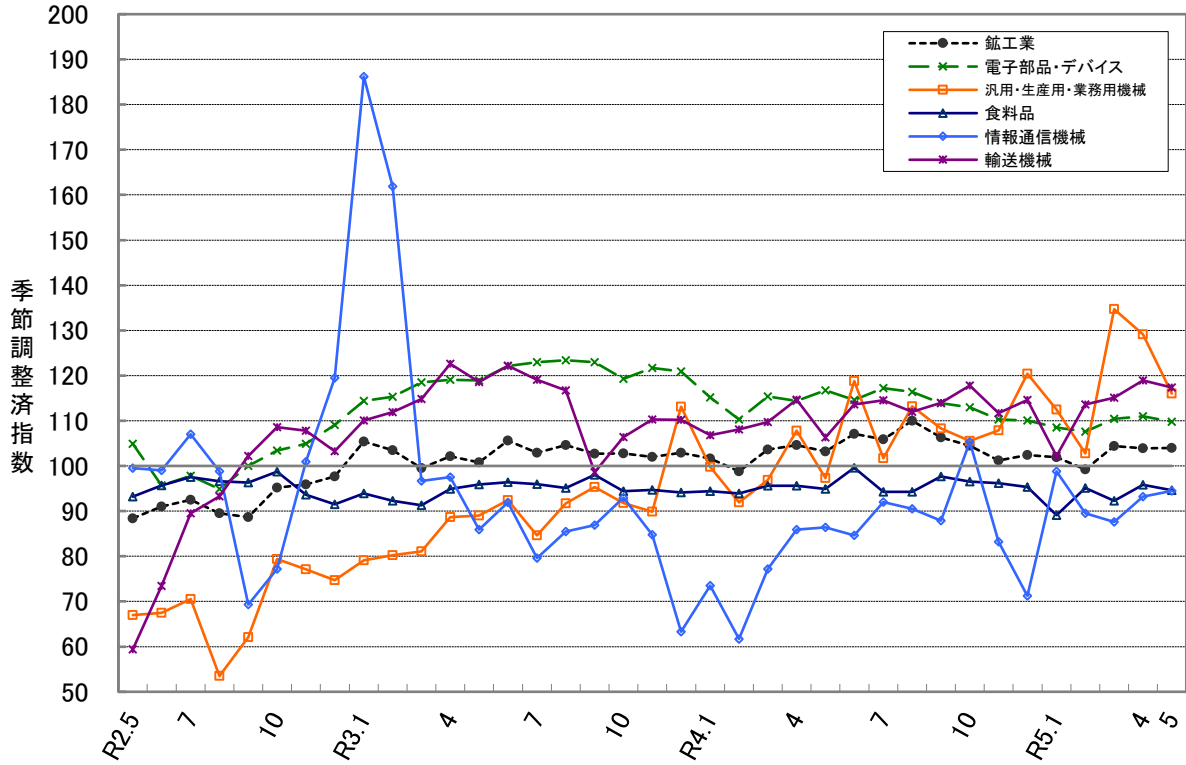
加えて、主要品目群について業種内すべての品目を計上していないこともあり、業種と主要品目群で上昇や低下の傾向が異なる場合があります。

《参考》上記7業種以外で上昇や低下に大きく寄与した業種

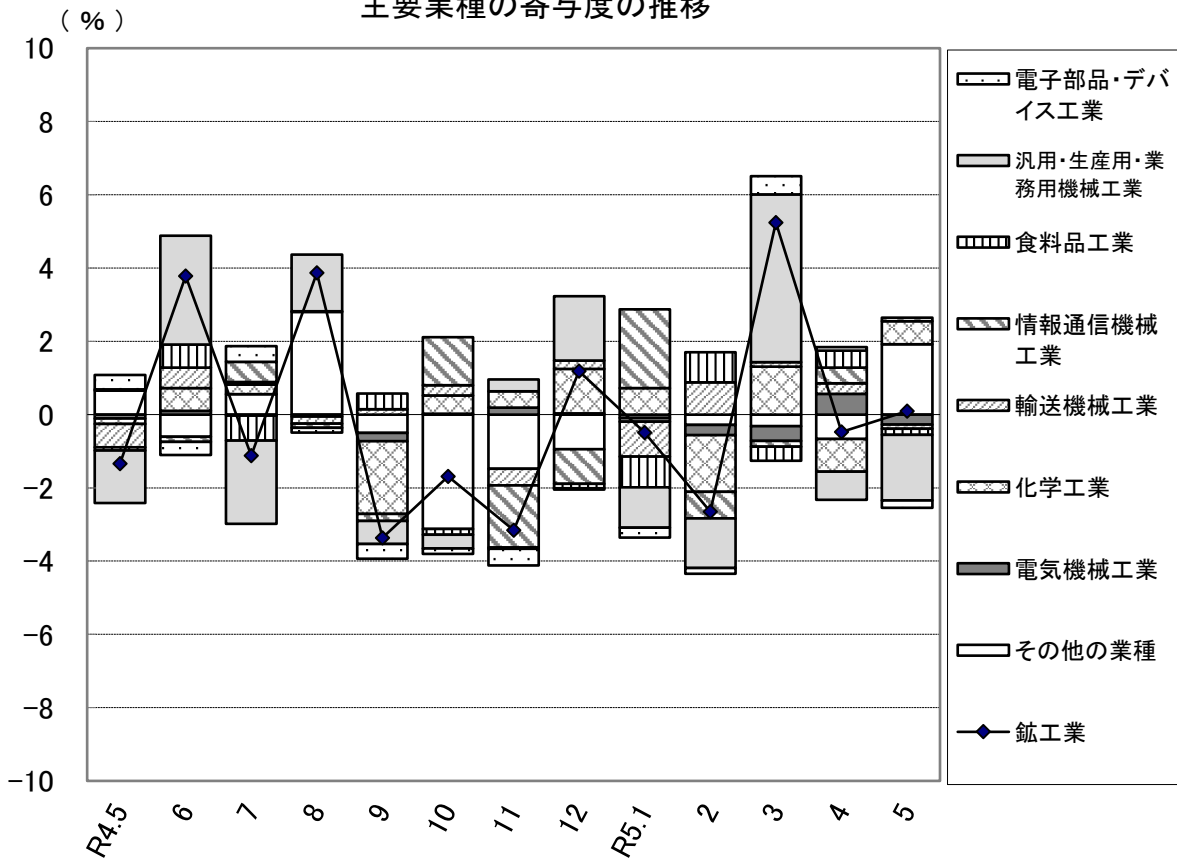
業 種 (ウェイト)	生 産 指 数		
	季調済	前月比	前年同月比
金属製品工業 (265.4)	季調済	142.3	56.4%
	原	133.3	41.5%

(H27=100)

主要業種の生産動向 (季節調整済指数)



主要業種の寄与度の推移



※「寄与度」とは、鉱工業指数（全体）に対して、各業種の増減分がどの程度影響を与えたかを示したものです。

☆ 山形県のホームページからもご覧になれます。

HPアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>

・トップページ → 目的から探す → 統計情報・オープンデータ
→ 商工・観光 → 鉱工業指数

または

・トップページ → 組織から探す → みらい企画創造部
→ 統計企画課 → 統計データ(分野別) → 鉱工業

山形県鉱工業指数 令和5年5月 速報

<問い合わせ先>

山形県みらい企画創造部統計企画課 経済統計担当

住所 〒990-8570 山形市松波二丁目8-1

電話 023(630)2809 または 2184

FAX 023(630)2185